

最後の車か？

中央区・中州支部 川畑平一郎

2005年にメルセデス・ベンツがEクラスをベースにした4ドア・クーペCLSを発売した(世界初)、病院を閉めた時期でもあったので最後の車と思い購入した。V8/5000ccのエンジンを積んだこの車は快適で、購入した始めは湯布院・別府等1,000kmに及ぶ遠出の2回等ドライブを楽しんだ。

昨年始め小さな車が2台必要になった為13年乗ったCLSを下取りに出してC200を購入した。

鹿児島市医師会ゴルフコンペが6月に知覧カントリークラブであり、平川から知覧峠を上り下りした。今のCクラスはパワーもあり改良されているがこのワインディングロードではCLSと歴然とした差があり、CLS(走行距離僅か15,000kmだった)を残しておけば良かったと悔やんだ。

同月下旬、素晴らしく高性能になった3代目のCLSが日本にも輸入され始めた。小さい時から車好きの悪い虫？がむらむらと出てきてその車を手に入れたくなった。93歳の超高齢では遠出をすることも稀でこんな良い車を持っても宝の持ち腐れではと自問自答し3回迷った。3回目に輸入したばかりのNew CLSを予約し明日は印鑑証明を取って契約するというその深夜3時頃左後頭部(表在性)の激痛で目が覚め、血圧が180/100と高かった。麻痺症状は無いので朝の7時半まで待って内科の主治医に電話したら、先生は一度脳神経外科の診断を受けた方が良いと勧められた。こんな状態では新車などでの外だと思いヤナセには事情を説明して予約をキャンセルした。

脳神経外科の診断では末梢性の後頭神経痛で脳内には全く異常はなく末梢治療だけで完治した。先生に折角良い車を予約していたのにキャンセルしたことを話すと「脳には全く異常が無いのに惜しい事をしましたね、復活は出来ないのですか」と言われる。1週間考



えたが、人生1回しかないのに数カ月か何年間か分からないが惚れ込んだ車に乗らないという選択は無いと思い、ヤナセにもう残っているCLSは無いだろうねと電話した。ヤナセの社員は「在庫を調べてみます」との返事だったが、しばらくすると電話あり、小生が先に予約していた車は既に鹿児島ヤナセに来ているとの事だった。夕方ヤナセに行ってみるとショールームに「商談中なので手を触れないで下さい」との札がついてNew CLSが鎮座していた。車の方から小生に乗って貰おうとやって来たような感じだった。

3代目の新しいCLSはスムーズで上質な3000CCの直列6気筒のエンジンが搭載されており、エンジンとトランスミッションの間にISGというディスク型の発電機とその横に48Vのバッテリーがあり、発進と加速などでは電気モーターが作動するので凄くスムーズにスタート・アクセレイトするし、又当然燃費も良い。

その他アクティブセーフティと称する最新型の安全装置がついており、もしもの時は車を安全に停止させる、追突回避・横からの接触予防や、PRE-SAFEという危険を事前に察知し万一に備える等安全に対する装備があり、超高齢者には有難い。

色々迷ったけれど、70年を超える運転歴で乗った車も20台以上になると思うが、生涯the Bestの車で運転する度に幸せを感じている。